

グラフで見る関西経済 (2020年7月)

2020年7月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きもみられる

【今月のポイント】

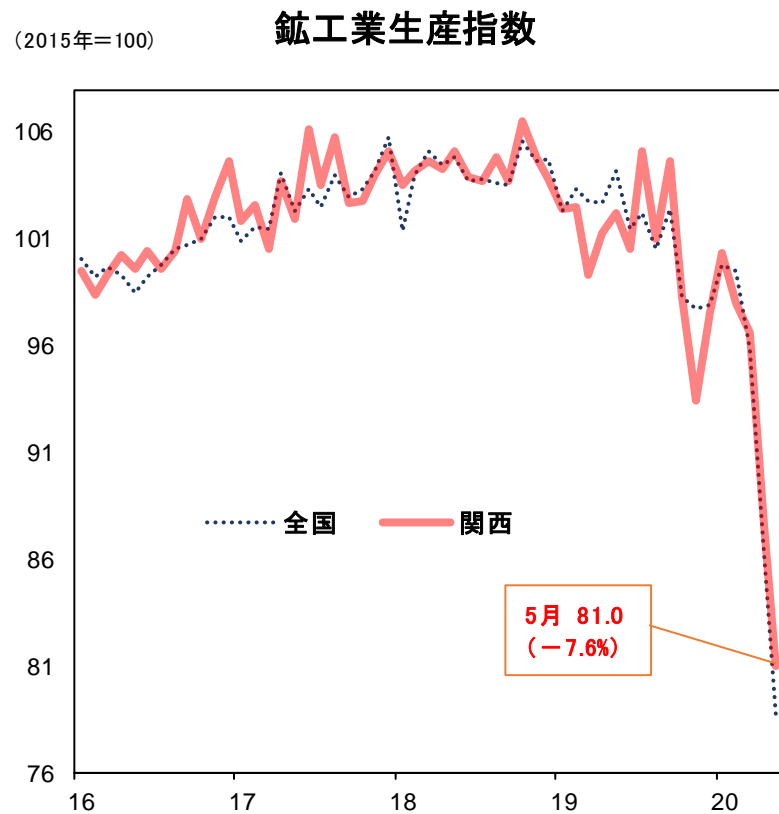
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、足下の指標は総じて厳しい水準にあるが、社会・経済活動再開もあり一部に下げ止まりの動きもみられる。
- 生産は減少が続くが、関西は輸送用機械の比重が小さいことから、全国に比べ落ち込み幅は小さい。輸出は大幅な前年割れが続くが、前月比で小幅増加。
- 個人消費関連指標は、インバウンド蒸発の影響で百貨店の大幅減が続き、ドラッグストアも減少。一方、スーパー、家電は増加。総じて、下げ止まりの動きがみられる。
- 消費マインドは底打ちの動き。
- 6月の倒産件数は一転急増。

| 項目 | 現状 |
|------|---|
| 景気全般 | 新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きもみられる(↑) |
| 生産 | 減少している |
| 輸出 | 下げ止まりの動きがみられる(↑) |
| 設備投資 | 増加基調 |
| 雇用 | 弱い動きとなっている |
| 賃金 | 弱い動きとなっている |
| 個人消費 | 下げ止まりの動きがみられる(↑) |
| 住宅投資 | 弱含んでいる |
| 公共投資 | 増加基調で推移 |

(注) 景気全般は、下げ止まりの動きが広がってきたことから小幅上方修正
輸出は前月比で小幅増加
個人消費は、スーパー、家電等が増加
公共投資は表現のみ変更(判断は変更せず)

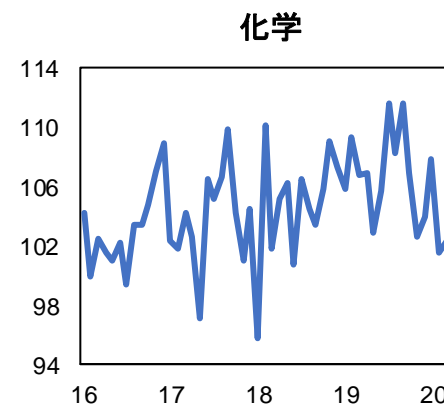
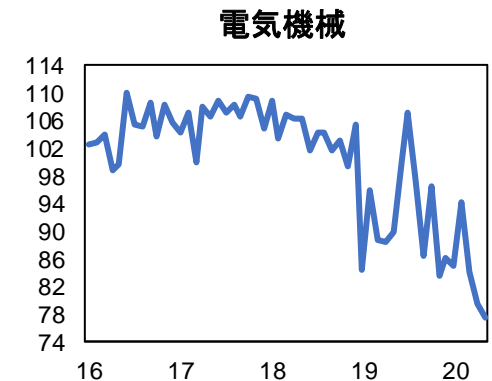
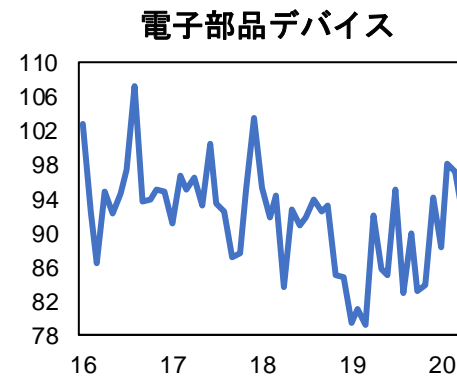
生産

5月の鉱工業生産は前月比-7.6%と大幅に減少した。汎用・業務用機械、生産用機械、鉄鋼・非鉄金属などが減少した。前年比では-22.4%減。先行きについては持ち直しが見込まれる。



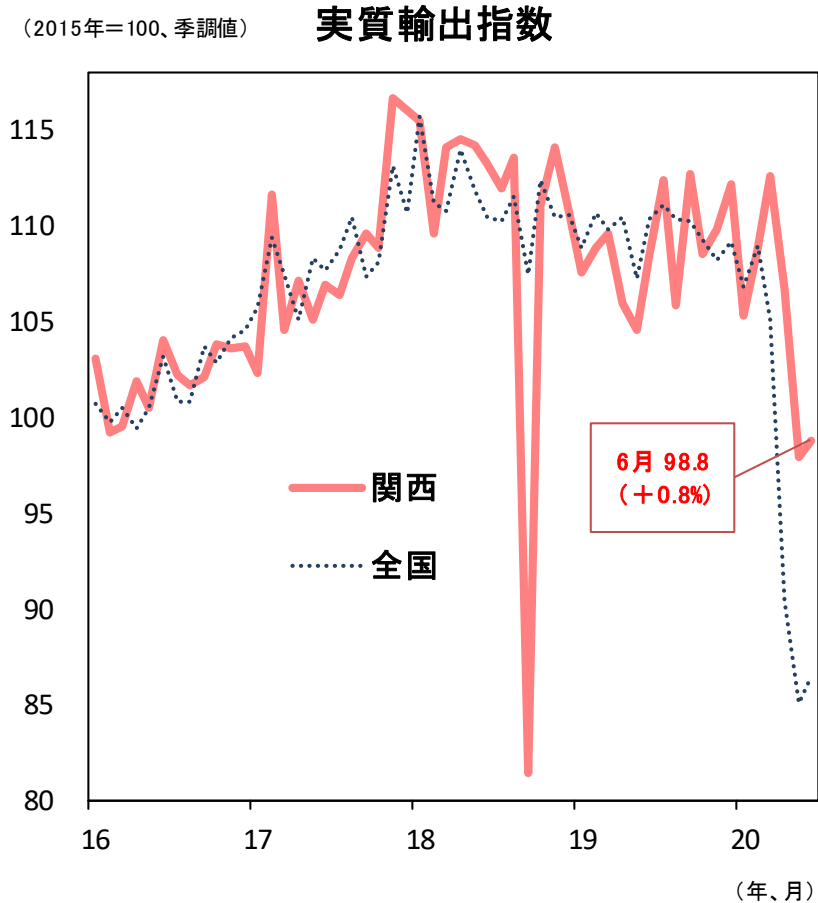
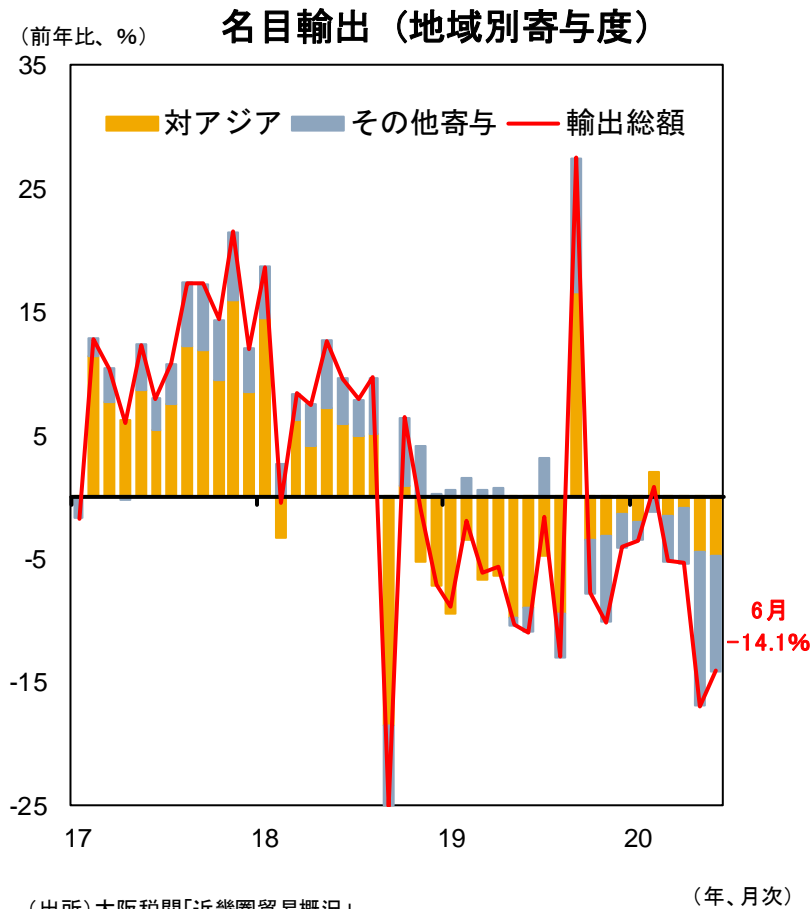
(出所) 経済産業省、近畿経済産業局

(年、月)



輸出

6月の名目輸出額は前年比-14.1%と大幅に減少した。半導体製造装置、半導体電子部品が増加したこと、自動車の落ち込みの寄与が小さかったことにより、全国(同-26.2%)に比べ落ち込みは小幅となった。6月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+0.8%と3ヶ月ぶりに小幅上昇した。



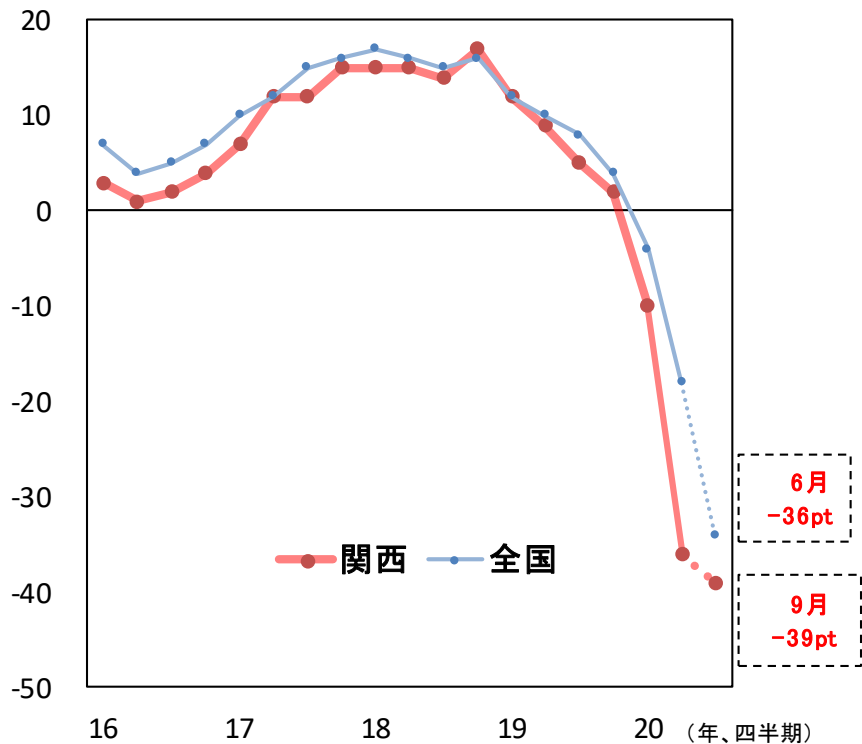
(出所)大阪税関「近畿圏貿易概況」

(出所)日銀大阪支店「実質輸出入」

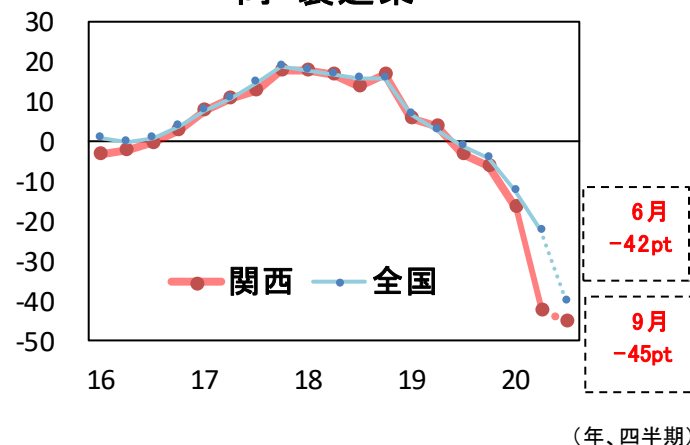
企業景況感(日銀短観)

日銀短観6月の業況判断DIは全産業で-36ptと3月から大幅に悪化。製造業は-42pt、非製造業は-31pt。先行き(9月)についても、全産業、製造業、非製造業、いずれも悪化が見込まれている。

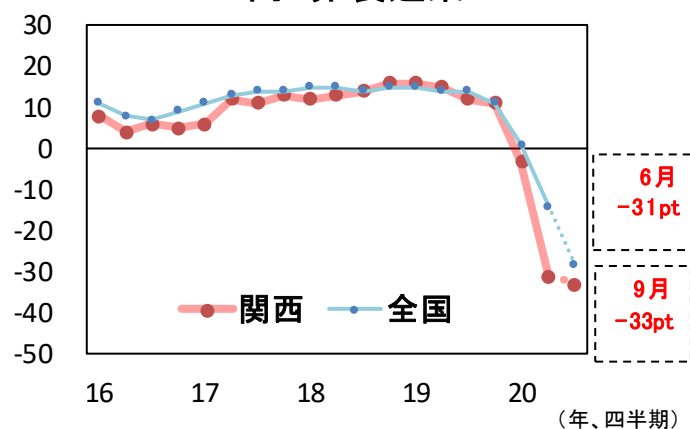
短観業況判断DI「全産業」



同 製造業

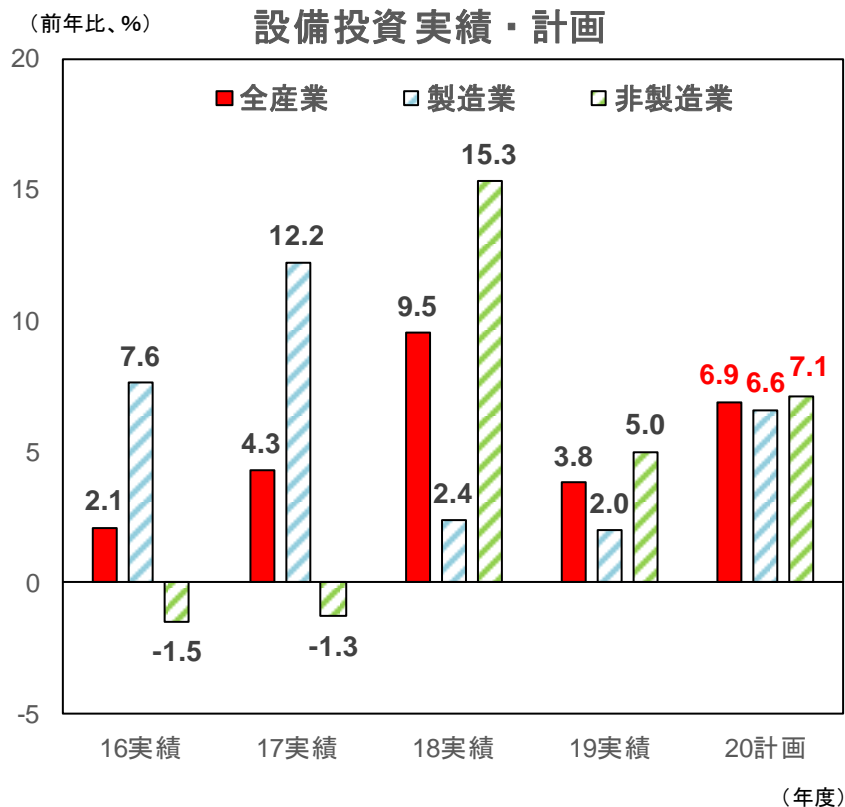


同 非製造業



設備投資

日銀短観6月調査によると、19年度の設備投資(実績)は前年比3.8%の増加、非製造業の伸びが製造業を上回った。20年度は全産業、製造、非製造いずれも前年比増加を見込み、3月調査時から小幅上方修正された。



設備投資額(前年比%)

| | 19年度 実績 | 20年度 計画 | |
|------|------------|---------|------------|
| | | 今回 | 3月調査時 [差異] |
| 全産業 | 3.8 | 6.9 | 5.2 1.7 |
| 製造業 | 2.0 | 6.6 | 5.9 0.7 |
| 非製造業 | 5.0 | 7.1 | 4.7 2.4 |

個人消費(小売売上、自動車販売)

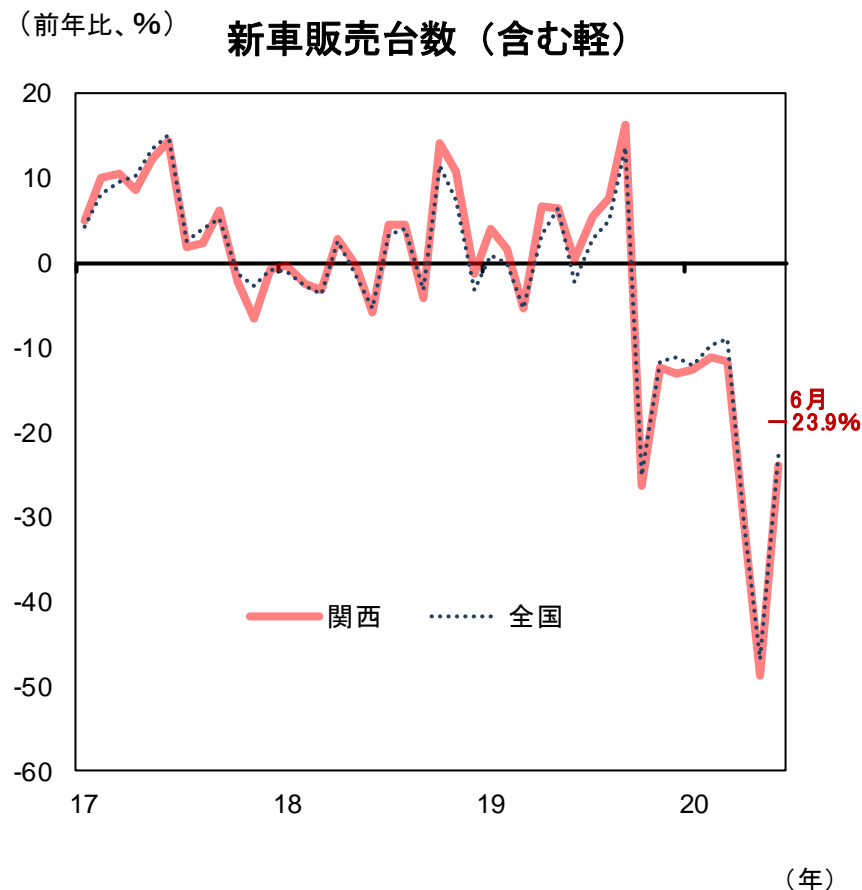
5月の小売販売額は、前年比-11.9%と減少幅は前月から縮小したが、大幅な前年割れが続いている。インバウンド蒸発の影響が大きく、悪化幅は全国より大きい。百貨店、コンビニは大幅減。ドラッグストアも全国が増加する中、減少した。

6月の新車販売は、前年比-23.9%と減少が続いている。

小売販売額 (6業態計)



新車販売台数 (含む軽)



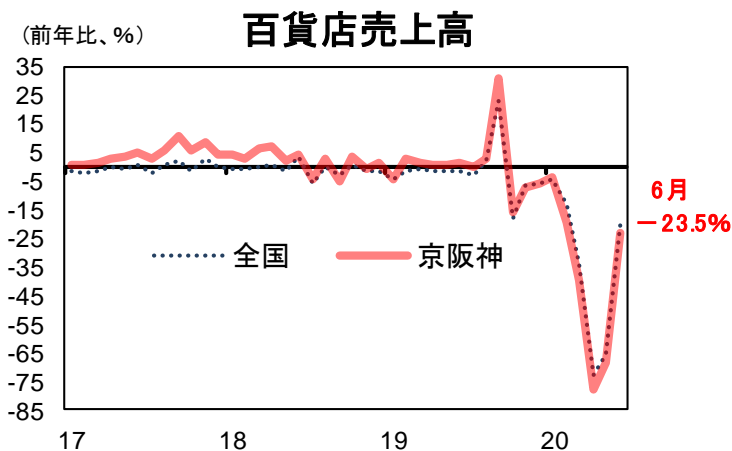
(出所) 商業販売動態統計

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

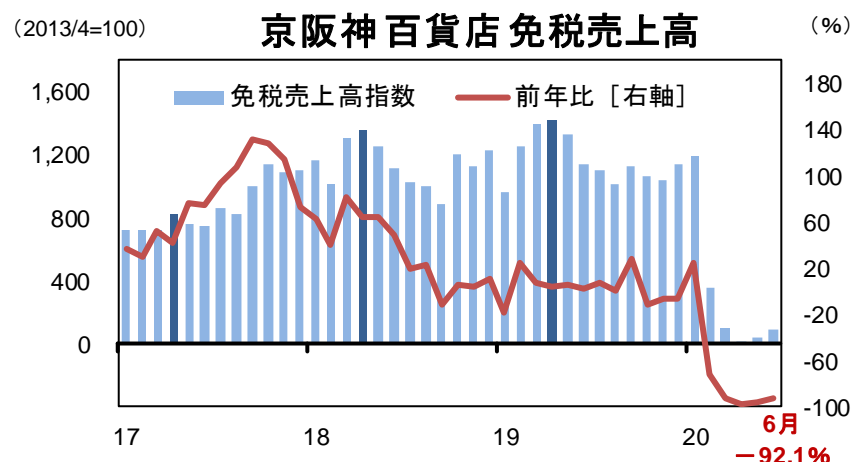
個人消費(業態別)

6月の百貨店売上は、インバウンド蒸発の影響で前年比-23.5%と減少。うち免税売上は入国制限もあって同-92.1%とほぼ消失した(9割減は4ヶ月連続)。

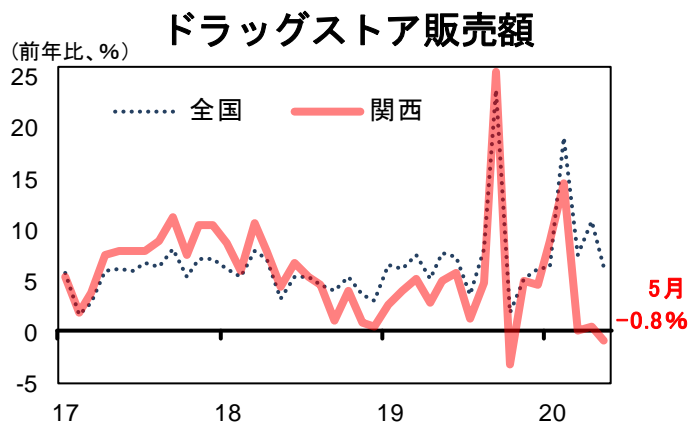


(出所) 日本百貨店協会

(年、月)

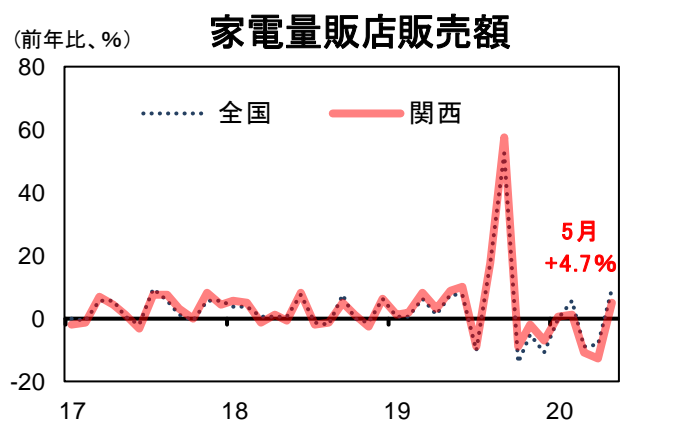


(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西地域)」



(出所) 商業販売動態統計

(年、月)

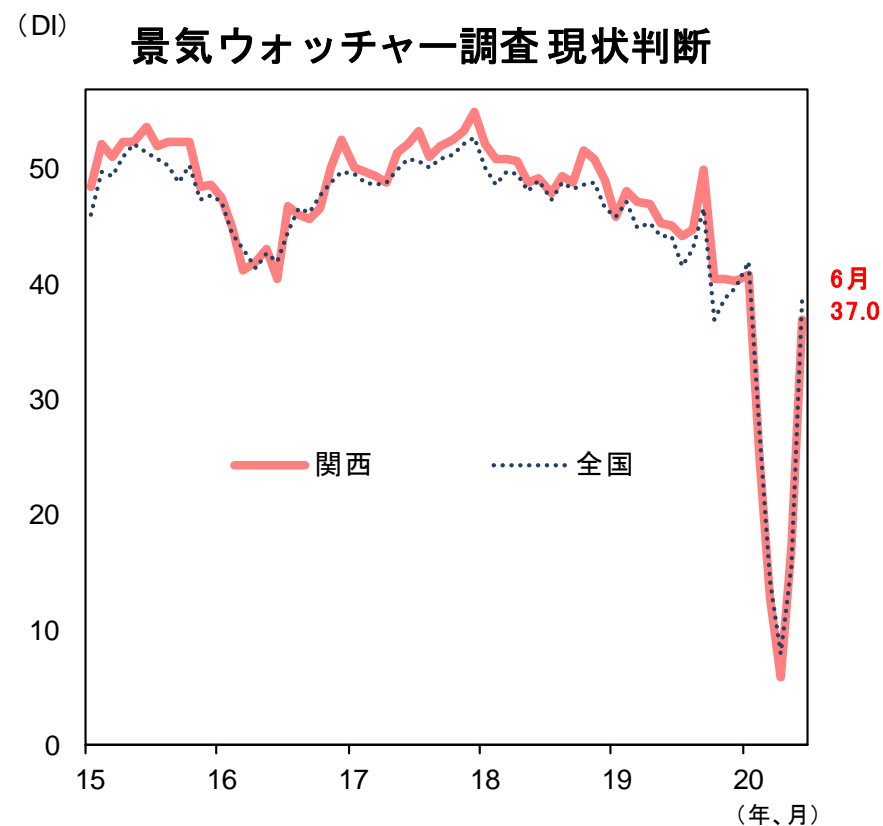
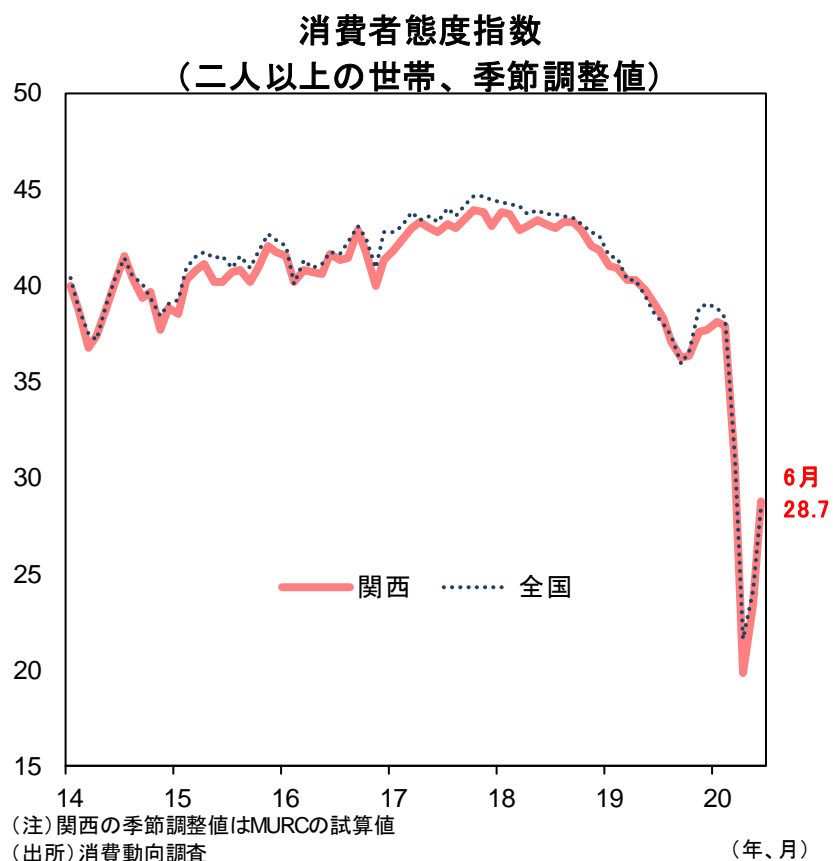


(出所) 商業販売動態統計

(年、月)

マインド・景況感

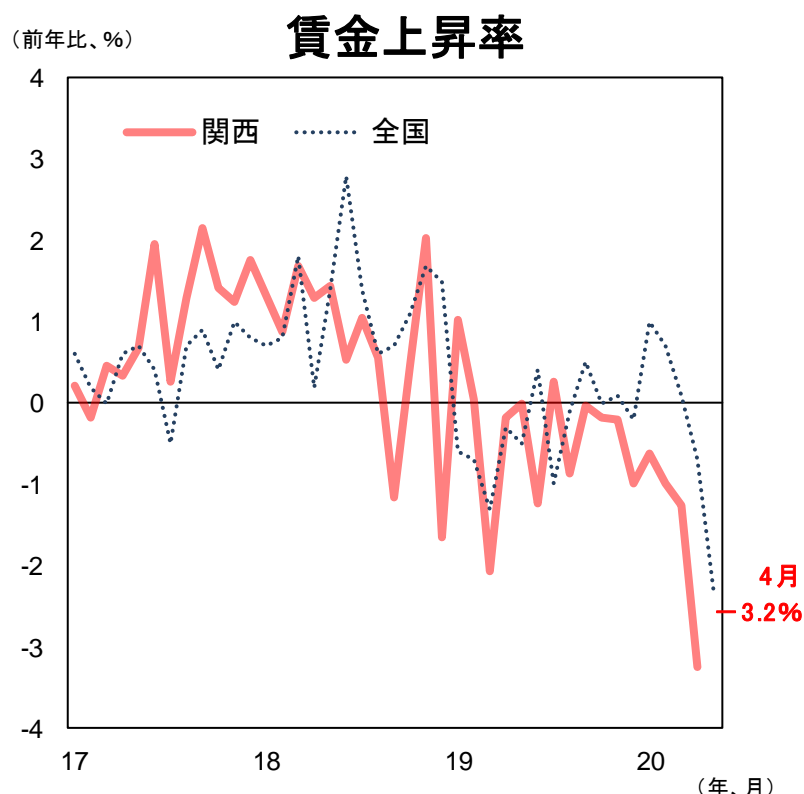
6月の消費者態度指数(季節調整値)は28.7と低水準ながら前月より上昇。緊急事態宣言解除が影響した。景気ウォッチャー調査の現状判断DI(季節調整値)も37.0と前月より上昇した。消費者マインドは5月が底であった模様。



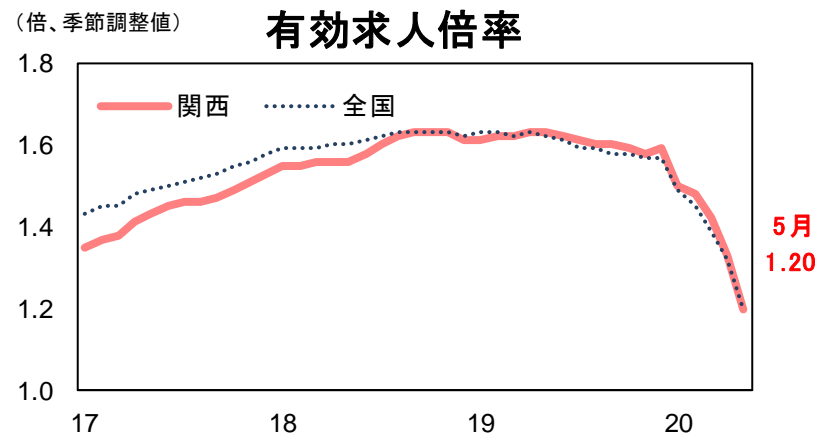
賃金・雇用

4月の名目賃金指数は、前年比-3.2%と9ヶ月連続で前年比減。賃金動向は弱い動きとなっている。

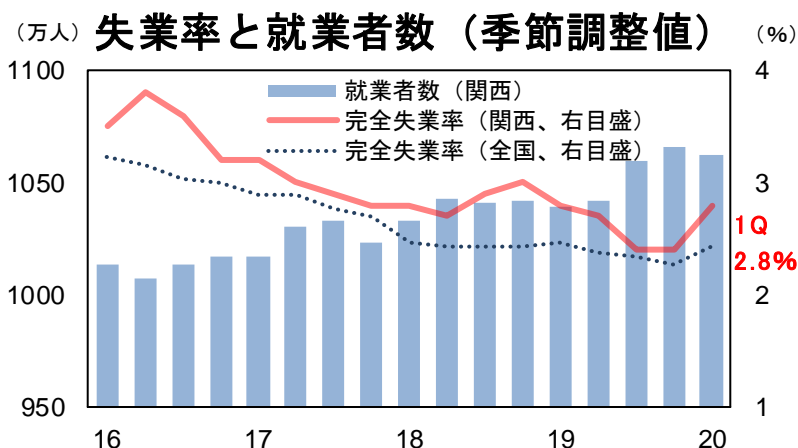
5月の有効求人倍率は5ヶ月連続で低下。新型コロナウイルス感染拡大の影響で求人数が減少し、求職者数が増加した。宿泊・飲食サービス業、製造業などで求人数がほぼ半減している。



(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算
(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」



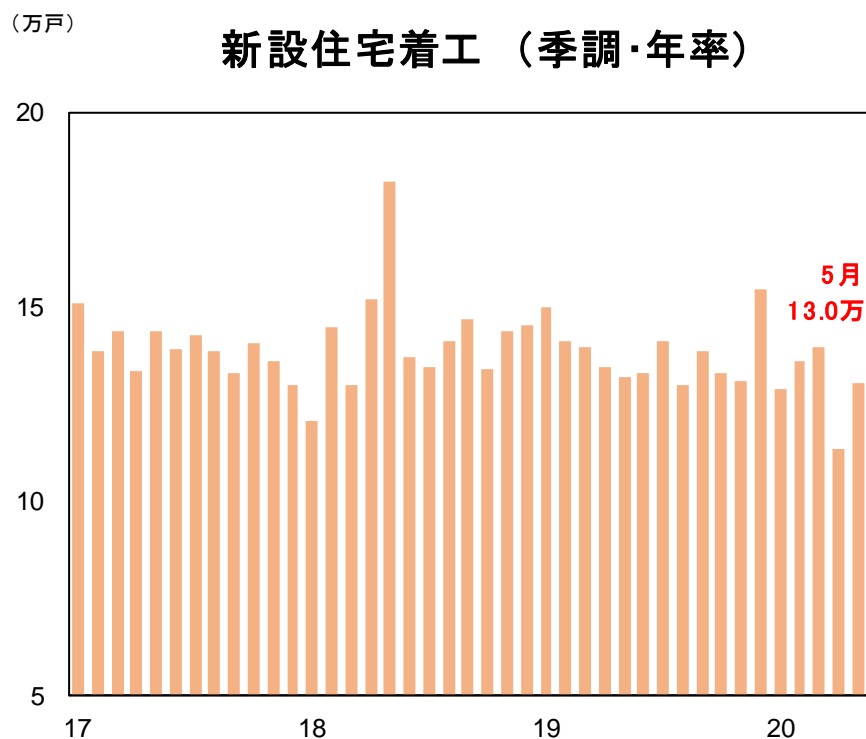
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」 (年、月)



(出所) 総務省「労働力調査」 (年、四半期)

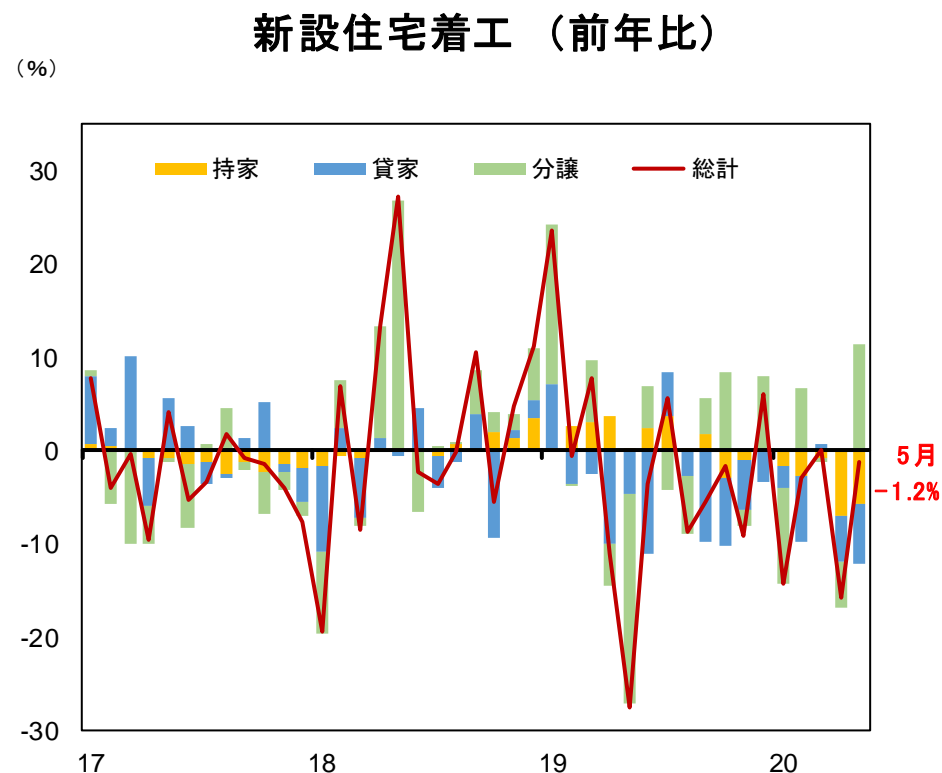
住宅投資

5月の住宅着工は季調・年率13.0万戸となり、総じて弱い動きが見られる。原数値では前年比-1.2%。分譲が増加したが、持家、貸家は減少した。



(出所) 建築着工統計

(年、月)

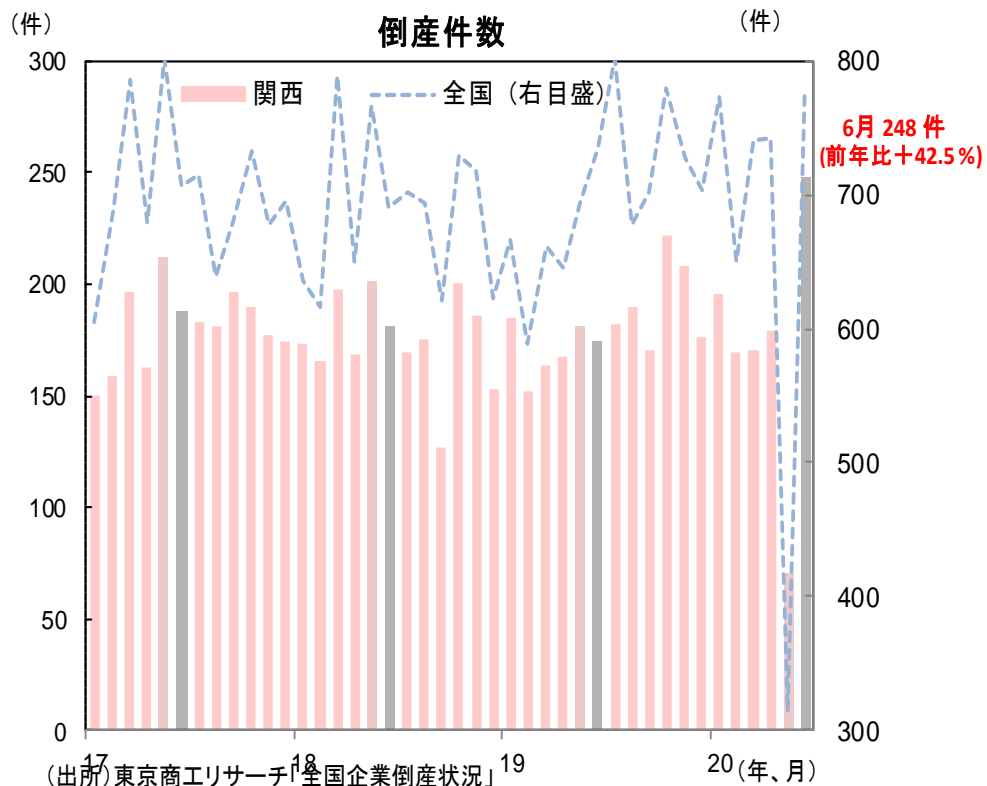


(出所) 建築着工統計

(年、月)

倒産

倒産件数は、新型コロナウイルス感染拡大、裁判所業務の平常化により大幅増。



公共投資

公共投資は増加基調で推移している。



(注) 12ヶ月後方移動平均の前年比

(出所) 保証事業者協会、北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください